



鈴木 勝

健康で幸せな人生を！

新聞を読んでいたら、「自転車の窃盗が増えている、自転車に愛錠を」という記事を目にした。「愛情」を「愛錠」に変換したものだ。他にも、相続が問題となっている記事では「不動産」を「負動産」と表現しているものもあった。また、「就活」と言えば、一昔前は「就職活動」であったが、現在は人生の終わりの活動を意味する「終活」である。

以前「90歳、何がめでたい」という映画が上映されていた。90歳を迎えた作家である佐藤愛子氏を題材にした作品である。映画の内容となってしまうので、詳しく書くことはできないが、数年前に「卒婚」という言葉も流行したことを思い出した。

健康という言葉は「健幸」と表現される時代である。私も幸せな「終活」を迎えたいものである。

二十歳を迎えた皆さんには、これから輝かしい未来が待っています。身体的な健康と、それぞれが願う幸せをつかむことができ、「健幸」な人生を送ることができるよう応援しています。

「デジタル終活」は今から準備！

スマートフォン等が普及し、インターネットでのサービス契約は簡単になりました。亡くなった人のインターネット上の資産やサブスクリプション契約等を「デジタル遺品」と呼び、遺族から困っているなどの相談が寄せられています。ID・パスワード等がわからない場合、携帯電話会社でもわかりません。

【事例1】亡くなった夫のスマートフォンのパスワードが分からず開けない。利用していたネット銀行もわからず口座を確認できない。

【事例2】亡くなった父のクレジットカードに毎月3千円のサブスクの利用料が請求されていた。解約しようとしたが、請求元に「IDとパスワードが分からなければすぐに解約はできない」と言われた。

消費生活センターからのアドバイス

契約内容の確認や解約方法など、事前に家族と情報を共有するなど今から準備しておきましょう。

例1) 備忘録などで契約中のサービスのID・パスワードを整理する。

例2) エンディングノートを活用する。

例3) パスワードを知られたくない場合は、書いたパスワードに修正テープを2〜3回重ねて見えなくする。削られた形跡がある時は変更する。

不安に思うことがあれば消費生活センターにご相談ください。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188 局番なし 又は ☎984-7208

人権

それは愛

わたしの弟

わたしには弟がいる。でも、弟は、ふつうのわたしたちとちょっとちがう。勉強やいろいろなことが少しおけているのだ。弟は、今二年生だが、わたしの学校にはいない。特別支援学校という学校に通っている。

小さかったころの弟は、だっ走やいたずらをして、まわりをこまらせてばかりいた。げん関のかぎを一人であけて、道路にとび出してしまうことがあった。近所の人に助けてもらって、きき一発というところだった。部屋の中のかべには、一面大すきなアンパンマンの絵をかいてしまうこともあった。一番こまったのは、わたしの大切なものをどこかへ持って行ってしまうことだった。でも、今思うと、わたしが出しっぱなしにしてしまったことが悪かったんだと思う。

休みの日に、家族みんなで公園に遊びに行ったことがある。弟とわたしは、まっ先にブランコに向かった。弟は、ブランコが大好きで、ずっとブランコをこいでいた。わたしは寒くなってきたので、公園を一周走って、お花でかん

むりをつくることにした。すると

「ドンッ。」

と、音がした。弟がブランコから落ちてしまったのだ。弟は、口のあたりから血を流していた。わたしはびっくりして、どうしていいのかわからなくなった。心配でたまらなかった。急いで病院にいったが、口のまわりをぬう大けがになってしまった。

先日、弟の学校で運動会があった。かけっこ・玉入れ・おどろ、どれも弟は、一生けん命がんばっていた。一年生の手をひいて走るすがたを見て、ずいぶん成長したなあ、お兄ちゃんになったなあとうれしくなった。

弟は、やんちゃでいたずらばかりする。いつもはらはらドキドキさせられることが多い。でも、やっぱりかわいい。お姉ちゃんとあまえてくる弟が大すきだ。たとえしょう害があっても、弟は、わたしの弟だ。わたしにとっては、特別なそんざいなのだ。弟がわらってくらせるように、わたしも弟といっしょにがんばっていきたいと思う。

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815